

# 牛津中だより

文責 校長



「豊かな人間性を培い

志を高く学び続ける生徒の育成」

～主体性と協働性を高めることを通して～

## 【 2学期も本校の教育にご理解とご協力、ありがとうございました！ 】

2025年も残りわずかとなりました。2学期も大きな事故やけがもなく、無事に終わることができました。保護者の皆様には、1学期同様、本校の教育に対して、ご理解とご協力を賜り、大変感謝しています。2学期を振り返りますと、2年生の職場体験、3年生の修学旅行、1・2年生のバス旅行、津拓祭（しんたくさい）・合唱コンクールなど、たくさんの学校行事を行いました。が、昨年までの取組を参考にし、新たな取組や工夫を加えながら、主体的・協働的に活動し、大きな成果を挙げることができました。学校行事を通じて、子どもたちの成長を感じることができました。生徒会活動も3年生から2年生へバトンタッチし、1月からの活動に向け、着々と準備を進めているところです。

25日から冬休みに入ります。健康で安全な生活を送り、計画的に過ごせるよう、また、2025年を振り返り、新たな気持ちで希望をもって2026年を迎えられるよう、ご家庭でもねぎらいと励ましをお願いします。



## 【 12/5 古川 昇平先生より、絵画を寄贈していただきました！ 】

12月5日（金）に古川 昇平先生（牛津中学校出身、現多摩市立東原摩舎東部校 教諭）より、絵画を寄贈していただきました。作品については、校長室前フロアに展示しています。この作品は、2023年12月5日に、脳腫瘍のため、25歳の若さでなくなった古川先生の三女湖乃美さんが4・5歳くらいの時をモデルに描かれています。遠景（えんけい）に広島原爆ドームをシルエットで配置し、折り鶴を持つ少女と組み合わせて描かれており、少女が見つめる未来が平和な世界へと続くようにとの思いが込められています。母校の生徒に、命を大切にしてほしい、平和な世の中を築いてほしいという願いを込めて寄贈していただきました。若くして亡くなった湖乃美さんへの追悼の思いや命の大切さ、平和への願いが込められたこの「見つめる（ヒロシマ）」という作品を後世に長く受け継いでいきたいと考えています。保護者の皆様も、学校にお越しになった際には、是非、一度鑑賞していただけたら幸いです。なお、作品の設置に係る額代など、PTAの方からも一部補助をしていただきました。ありがとうございました。

作品名：みつめる（ヒロシマ）



## 【 12/3 人権教育講演会 演題：不思議な「ありがとう」のチカラ 】

12月3日（金）に、河村 武明氏を講師にお招きし、不思議な「ありがとう」のチカラという演題で、人権教育講演会を行いました。河村氏（通称：たけ）は、2001年10月、34歳の時に、突然、脳梗塞で倒れ、命はとりとめたものの、失語症、構音障害、聴覚障害、右手麻痺という重い後遺症が残りました。当時ミュージシャンだった河村氏にとっては、最も大事なものを奪い去られ、「もう死んだほうがましだ」という深い絶望感の中、利き手ではな



い左手で絵を描き始め、京都の繁華街で路上販売を始めると、新聞やテレビ、雑誌などのメディアにも取り上げられるなど、精力的に活動し、講演活動も現在600回を超えているそうです。

河村さんは、言葉がうまく出せないのが、かわりに奥様がスライドを見せながらお話をし、河村さんが壇上で身振り手振りを使って説明する形で行われました。講演の中には、植物に怒りの言葉をかけた場合と賞賛の言葉をかけた場合、30日後、賞賛の言葉をかけた植物は、大きく成長し、怒りの言葉をかけた植物はしおれてしまうという興味深い実験結果等を交えながら、何事も諦めずに、感謝の気持ちを持ちながら取り組むことの大切さや苦しいときやピンチの時に、「ありがとう」のパワーが発揮されることなど、聴く者の心をポジティブにさせる素晴らしい講演会となりました。

## 【 栄光の記録 】

- ◆佐賀県中学生サッカーU13 トレセン大会 第3位（1名）
- ◆佐賀県中学生サッカーU14 トレセン大会 第3位（1名）
- ◆第7回ろうきん杯九州女子中学生軟式野球大会 第2位（1名）
- ◆小城多久地区児童生徒理科研究発表会 特選（1名）
- ◆県児童生徒理科研究発表会 特選（1名）
- ◆第71回全国青少年読書感想文コンクール県審査 優良（1名）
- ◆第66回県学童美術展 地区審査 入選（多数）
- ◆第66回県学童美術展 準特選（1名）  
入選（3名）
- ◆創造ものづくり教育フェア地区審査 特選（3名）
- ◆創造ものづくり教育フェア県審査 入選（2名）
- ◆第46回緑光会親子スケッチ大会 特選（1名）  
入選（2名）
- ◆小城市教育委員会教育長「子ども表彰」 VS 部によるボランティア活動（2名）  
花による学校の環境整備（1名）  
ICT活用による学校の環境整備（1名）
- ◆県中学校バドミントン新人大会 個人3位（2名）
- ◆「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 最優秀賞（1名）